オークランド日本語補習学校通信

ふなで

2026年10月27日発行　令和8年度　第6号

【email】ajssnz@gmail.com　【web】http://www.ajss.ac.nz

おおらかに、信じて、育てる

校長　加納　直樹

学校の授業では、付箋紙がよく使われます。登場人物の気持ちの変化を書き出したり、子供たちの様々な意見を付箋紙に書いて、同じ考え、違う考えを仲間分けしたりする場面などで活用しています。糊がついているため、付けたり、剥がしたりできる大変便利なものです。この付箋紙の誕生は、アメリカの科学者の失敗から始まっています。航空機の製造に使える強力な接着剤の開発を目指していたところ、逆にとても弱い接着剤を創り出してしまった。それを別の科学者が本の栞への応用を思い付き、製品化されました。それが全世界に広がり、学校だけでなく、日常生活の様々な場面で活用されるようになりました。

失敗からの発明。この手の話は、世の中にたくさんあります。ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智先生は「成功した人は失敗を言わない。でも、人より２倍も３倍も失敗している」と語っています。今年の９月に名古屋で開催されたアジア大会では、アスリートたちが真剣に自分を表現し競い合う、感動的な姿が見られました。その中には、懸命に演じたけれど意に反してうまくいかない場面や、必死に戦ったけれど結果が出ないということも数多くありました。

こういった失敗やうまくいかないことが当たり前にあるのが世の中なのでしょう。そして、失敗を通して次に向かうエネルギーを得て、いつかは成果を導き出そうとする。人間社会の強さは、へこたれずに何度でも立ち向かっている一人一人の生き方が創り出しているように思えます。

しかし、最近は過度に失敗を恐れる風潮があるように感じています。子供たちの様子を見ても、間違えてはいけない、常に正解だけを求めるという意識の大きい子供たちが増えていると感じます。

周囲の目を気にしすぎているのでしょうか。他人の評価に過敏になっているのでしょうか。学校は、間違うところです。失敗やミスをしていい場所であるはずです。生まれて６年から15年しか経たない未熟な子供たちが、できない、わからない、間違えてしまう、失敗してしまうことも経験し、そこから学んでいく場所が学校であると考えます。

私たち大人は、失敗する子供たちをおおらかに受け止めたいと思います。失敗から学ぶようにかかわり、今はできなくてもいつかはできるようになるし、今度は成功すると、信じてあげたいと思います。保護者の皆様は、子供たちにとっての身近な先生でもあり、お手本です。

後期が始まって半月が経ちました。子供たちはよく頑張っていますが、思ったようにいかない、うまく事が運ばない時間もあるでしょう。そんな時は付箋紙のように、一度貼ってダメなら貼りかえて、より充実した補習校生活を実現してほしいと思います。今後とも保護者の皆様にはご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【2026 年度 教育講演会を開催しました】



9 月 19 日（土）、2026 年度教育講演会を開催しました。

今年のテーマは、「これからの時代を生きる子供たちに必要な力」。

今回は、NPO 法人ほがらか絵本畑理事長の三浦伸也様（しんちゃん）、本校理事長の橋本直江、本校校長の加納直樹の 3 名によるパネルディスカッションを行いました。

全国で読み聞かせ活動を続けてこられた三浦様、国際的な環境での仕事やニュージーランドでの子育てを経験してきた橋本理事長、日本と海外の教育現場に携わってきた加納校長。

それぞれ異なる経験を持つ 3 名が、これからの時代を生きる子供たちに必要な力とは何か、そして家庭でどのように育んでいけるのかについて語り合いました。

子供たちが自分で考え、選び、行動する力。人と関わりながら、自分自身の気持ちや価値観も大切にする力。

また、子供のために先回りしすぎず、時には見守りながら、子供自身が考え、挑戦する機会をつくることの大切さについても、具体的な経験を交えてお話しいただきました。

海外で学び、生活する子供たちにとって、異なる文化や価値観に触れることは大きな学びとなります。その中で、相手を思いやる心と同時に、自分自身を大切にすることも大切な力であるというお話も印象に残りました。

今回の講演会を通して、子供たちの未来を考えるとともに、私たち大人が日々の関わりの中でできることについて、改めて考える機会となりました。

ご登壇いただいた三浦伸也様、橋本理事長、加納校長、そしてご参加くださった皆様、ありがとうございました。

【大きな感動に包まれた2026年度 学習発表会】

先月の 9 月 24 日・25 日、補習校での学習の成果を披露する 2026 年度学習発表会が開催されました。

A・B コースのどの学年もこれまでの練習の成果を存分に発揮し、会場は温かい拍手と大きな感動に包まれました。それぞれのコースの発表の見どころを振り返ります。

まず、9 月 24 日（木）に行われた B コースの発表会でプログラムのスタートを飾ったのは、B2 クラスによる劇「スイミーのキラリ大冒険」です。子供たちが一生懸命なかわいい姿がとても印象的で、見ているだけで心が温まる素敵なオープニングとなりました。

続いて登場した B1 クラスの劇「おおきなかぶ」では、二人の 1 年生が大きな声でセリフを言い、堂々と演じている姿が印象的でした。さらに嬉しいサプライズが会場を沸かせました。おなじみの物語の途中で、6 年生が飛び入り参加！さらに加納校長先生が扮する「ゴリラ」も登場し、予想外の豪華な演出に客席からは大きな歓声と笑い声が沸き起こりました。